



デザインのイメージ
岩手山・チャグチャグ馬コの里・滝の沢

たきざわ市議会だより

開かれた議会 市民とともに歩む議会 行動する議会

第4号

平成27年1月15日
編集：広聴広報常任委員会

〒020-0692 岩手県滝沢市中鵜飼55 TEL.019-684-2111 FAX.019-684-4195 <http://www.city.takizawa.iwate.jp/> E-mail:gikai@city.takizawa.iwate.jp

年頭のご挨拶

滝沢市議会議長 黒沢 明夫



あけましておめでとうございます。

滝沢市議会では、議会基本条例を制定しており

ます。その中で「通年議会」を取り入れ、本会議のみならず、各委員会の活動等も日常的に取り組

める土台を作り、1年間議会活動を進めてまいりました。2年目となる本年は、改善しながらより

良い議会運営に努めてまいります。

さて、「住民自治日本一」を掲げる滝沢市では、

議会も市民の皆様のご意見をよく聞き、一緒に良い地域づくりに関わっていかねければなりません。

その実現のために、本年は議会報告会などに代表される、市民の皆様の声を聞く場と、それを基として議論する場、そしてその声を行政に届ける手法や仕組みを検討いたします。併せて、そのよう

な議会運営を行うために必要となる環境や、議会の状態を客観的に評価し、改善につなげ、その

内容を市民の皆様にご公表する仕組みを検討し「住民自治日本一」にふさわしい市議会の具現化を図ってまいります。

また、今年も議会報告会等を開催いたします。ぜひ多くの皆様にご参加いただき、有意義な報告会にしたいと思っております。

結びに、平成27年が皆様にとって実り多い年となりますことを心から祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



ダイヤモンド岩手山（一本木より）

平成27年滝沢市議会予定

～通年議会の会期は1月9日から～

※このスケジュールは現段階での予定です。

右記のほかに「議会報告会」等を実施する予定です。

※7月には、市議会議員選挙が予定されています。

- 会議／2月・3月・6月・9月・12月
- 予算審査／3月
- 決算審査／9月
- 常任委員会／毎月第4木曜日

募集コーナー



○議会モニター

新たに2名応募がありました。

「議会モニター」は、あわせて3名となりました。より良い滝沢市の発展のため、議会を通じて一緒に活動しませんか。

○議会サポーター

定員はありませんので、多くのご応募お待ちしております。

※議会サポーターには、議会報告会や市民懇談会の企画運営のほか、議会ホームページや市議会だよりの作成支援など、様々な支援をお願いすることとしています。

○市議会だより掲載写真

主にメイン写真(1ページ)に掲載する写真を募集しています。皆様からの投稿をお待ちしています。テーマは「滝沢らしさ」です。

○応募方法・お問い合わせ

●「議会モニター」「議会サポーター」は、それぞれ申込書があります。

●申込書は、市議会のホームページからお取り寄せいただくか、議会事務局（684-2111内線412）へご連絡ください。

●申込書はFAX: 684-4195

または、E-mail gikai@city.takizawa.iwate.jp に提出ください。

大規模事業に伴う
財政運営の方策は

財源などを
総合的に検討し進めていく



春緑クラブ
角掛邦彦 議員

【問】大規模公共事業の財源負担と一般財源への影響は。

【答】最近、建設費の高騰がすべての事業に及んでいます。財政調整基金や地域整備基金を見込みながら、総予算と財源との関係や将来見通しなどを総合的に検討し進めていきます。

【問】公共施設の維持管理など新たな事業の考えは。

【答】国のインフラ長

のある組織を検討していきます。新たな事務事業の実施により、広域連携を進め、他団体の職員との人事交流により、職員の資質向上を図ります。

真の豊かさの実感と実現は

「心の豊かさ」の醸成で



しのめ会
熊谷初男 議員

【問】所信表明では市民が真に豊かさを実感できるものにするところがあるが、思い描くポイントは何か。また、実感する思いの実現にはどのような取り組みを考えているのか。

【答】日本の社会が集権的・画一的な社会システムのもと、人口増加・右肩上がり経済発展の成長期から少子高齢化社会となり、人と人との絆を持ち、持続可能な発展を実現すべき成熟期に入っていると考えます。

【問】「住民自治日本」を創造します。

【答】本市が更にめざす住民自治とは、「市民主体の地域づくり」のことであり、幸せに暮らすため市民一人一人ができることに自ら行動することと意味しています。

【問】産業振興についてお聞きします。

【答】既存企業の育成及び企業の誘致は、雇用の場が

会派代表
質問

※改選に伴う市長所信
表明に対する質問

住民に身近な
行政運営の推進は

(仮称)行政基本条例の中で
仕組みを位置付ける



一新会
長内信平 議員

【問】住民に身近な行政運営の推進の考えは。

【答】過去に「滝沢村中心拠点構想」として推進を図りましたが、土地利用の規制、交通渋滞の予測等から実現に至りませんでした。

【問】新市の中心市街地

【答】若者の定住は「働く場」「子育てしやすい環境」「生活しやすい環境」があることです。

市民の幸福感を
どのように広げていくのか

心の豊かさが実感できる
社会をつくる



新志会
山谷仁 議員

【問】市移行後11ヶ月が経ちました。市民生活の施策をどのように考えるのか。

【答】市民の皆さんが滝沢市で幸せに暮らし、真に豊かさを実感できるものにするために、全力を傾注していきます。

【問】アンケートによると、市民の皆さんが考えている幸福感の判断基準の中で、「心身の健康」は71.8％と最高となっています。心身の健康をどのように支えていくのか。

【答】健康づくりは、市民一人一人が健康に関心を持つて取り組むことが基本ですが、個人・家庭だけではなく自治会などの地域や行政が一体となつて進めることが重要です。

【問】子育てしやすい環境

【答】開設に併せて、市内各地から利便性の高いバス運行を、関係事業者等と協議調整をしながら検討しています。

【問】子ども医療費の窓口負担軽減は

【問】子ども医療費の窓口負担軽減は

【問】子ども医療費の窓口負担軽減は

【問】子ども医療費の窓口負担軽減は

【問】子ども医療費の窓口負担軽減は

【問】子ども医療費の窓口負担軽減は

【問】子ども医療費の窓口負担軽減は

【問】子ども医療費の窓口負担軽減は

【問】子ども医療費の窓口負担軽減は

【問】子ども医療費の窓口負担軽減は

【問】子ども医療費の窓口負担軽減は

【問】子ども医療費の窓口負担軽減は

【問】子ども医療費の窓口負担軽減は

【問】子ども医療費の窓口負担軽減は

ワークショップで
アイデアたくさん！

26年12月12日（金）、議場ロビーで、議員によるワークショップを行いました。

今回のワークショップは、よりよい市民議会をめざして企画を練り上げていくために行ったもので、多くの議員がアイデアを出しました。

普段は議論や討論が中心の議会ですが、ワークショップ方式の話し合いで、思いつかないようなアイデアが次々と飛び出しました。2時間という短い時間の中で「市民議会」をテーマとした3つの企画書が完成しました。

今回の企画書を参考に、市議会ではより参加しやすく、多くの方に興味を持っていただけるような、市民議会の開催に向けて検討していきます。

※ワークショップとは…参加者の主体性を活かし、話し合いや共同作業を行っていく手法で、その「場」のことです。

出されたアイデアの一例

小学生や中学生を
対象とした「市民議会」

同じ干支の人たちを
対象とした「市民議会」



①みんなでアイデアを出し、それぞれ付箋紙に記入します。



②出されたアイデアを、似たもの同士に分類します。



③話し合いの内容をグループごとに発表します。



Q 空き家の適正管理条例 制定の考えは

A 空き家等対策の推進に関する 特別措置法で対応します



会派に属さない議員
川原 清 議員

【問】25 年の 12 月議会でも質問していますが空き家が増えており、中には外部に悪影響を与えているものも見受けられます。

【答】①25 年は、市内の実態把握から始めるとの答弁でしたが、その結果から伺います。

②空き家の外部不経済（景観悪化、防犯上の問題点など）への市民から

正管理条例」の制定は考えていません。

【問】御嶽山の噴火以来、防災意識の高まりが見受けられるが、活火山である岩手山の状況は。

【答】気象庁の岩手山の

Q 三期目の政治姿勢は A 対話を基本に 信頼される市政を確立



新志会
高橋 盛佳 議員

【問】市長選挙の結果を受けて、これからの 4 年間の政治姿勢を伺う。

【答】市民との対話を基

出します。

【問】予算の効率化から、除排雪事業の見直しをすべきでは。

【答】今冬の上山自治会の国交省売雪事業参加を始め、地域の人材を活用し、市が経費負担等の支援を行うなど、地域と市の連携による、新しい除排雪の仕組みづくりに向けた検討を進めます。

【問】各種健康診断等の通知を保健推進員の戸別配布に改め、郵送料の一部を推進員の報酬にすれば励みにもなります。併

Q 日米合同演習の情報提供 及び安全面に対する取組みは

A 駐屯地と連絡調整し 情報提供はホームページで



日本共産党
桜井 博義 議員

【問】日米合同演習に対して、どのような説明を受けているか。

【答】日米それぞれの部隊が指揮系統に従い、共同作戦の訓練、相互の運用性の向上を図る目的と聞いています。

【問】オスプレイの参加も調整中と報道があり、安全面についての意思を強く国へ示すべきで

下図のとおり「議会」は「行政」とは違い、直接、政策を実施する立場ではなく、行政に対し、監視・提言を行う機関です。

質 問 一 般



Q 健康寿命を延ばし 長寿のための支援策は

A 地域と行政が役割を明確にし 連携して取り組みます



新志会
佐藤 美喜子 議員

【問】県は、脳卒中による死亡率が全国ワースト一位になったことで、県脳卒中予防県民会議を立ち上げ対策に本腰を入

れました。本市も深刻な状況ですがその対応は。

【答】「地域健康づくり連絡会」を開催し自治会と行政が一堂に会し情報提供や地域課題を共有しています。新たに出席講座メニューに「脳血管疾患の予防」も加えました。

【問】減塩に対する具体的な取組みは。

【答】地域の健康教室で「薄味でも美味しく食べ

られる」のテーマで調理実習をしました。

また、家庭のみそ汁の塩分測定をし、減塩に関する知識、必要性の普及啓発に努めています。

Q 脳血管疾患予防に 対する学校給食の役割

【答】塩分を体外に放出する働きがあるカリウムを多く含む野菜、果物を使いバランスのとれた給食で望ましい食習慣が身につくように努めています。

Q 男女共同参画計画 は最終年度ですが、その

Q 米価下落による市の対策は

A 経営安定資金の 利子補給を行います



しのめ会
武田 哲 議員

【問】米価の下落対策は。

【答】市では、ＪＡの稲作経営安定資金の借り入れに対する利子補給を行い、借入金利を市が負担すること、また、米価下落緊急対策資金の融資相談、市長会を通じて要望活動を行なっています。

【問】これまでの農業施策の評価は。

【答】その時代背景

トで競争力のある改革を期待しています。

【問】米価の暴落に對しての支援策は。

【答】貸付金の償還猶予、

に即応した、農業を振興する観点から様々な施策を行いました。その施策により規模の拡大、経営の多角化、農業所得の確保、地域農業の維持、景観形成、農業振興に寄与したと考えています。

【問】農業が果たす役割をどのように考えているか。

【答】その役割は、第一に食糧の生産・供給ですが、それ以外にもさまざまな役割を持っています。水害軽減、水生生物のすみか、四季折々の表情など様々な形でその役割を担っています。

【問】10 年後、20 年後の市の農業のあるべき姿をどう考えるか。

【答】近年の情勢は、変化が目まぐるしく、長期の展望を予測することは難しいことです。

寄せられたご意見を基とした「議会活動」の流れ

議会活動の仕組み

滝沢市議会では、市民の皆様から寄せられた「市政に対する課題へのご意見等」を基に、様々な議会活動を行います。

寄せられるご意見等が多ければ多いほど、議会ではより幅広く、より深い議論・調査を行うことができ、結果、行政の監視にとどまらず、政策提言などを用いてより良い滝沢市を議論する「本来の議会の姿」が実現します。

議会報告会や市民懇談会など、機会を捉えて随時ご意見をいただく機会を設けてまいりますので、ぜひご参加ください。

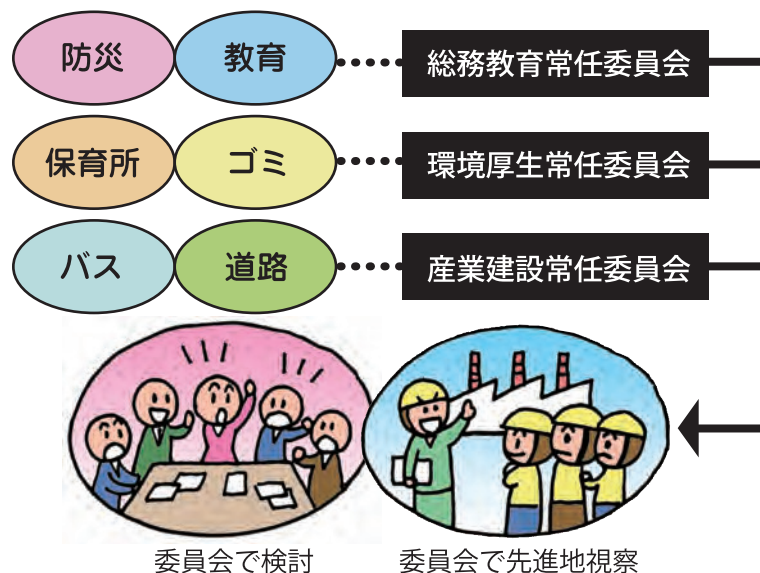
議会への参加を通じて、より良い滝沢市を一緒に作りましょう。



意見を集約

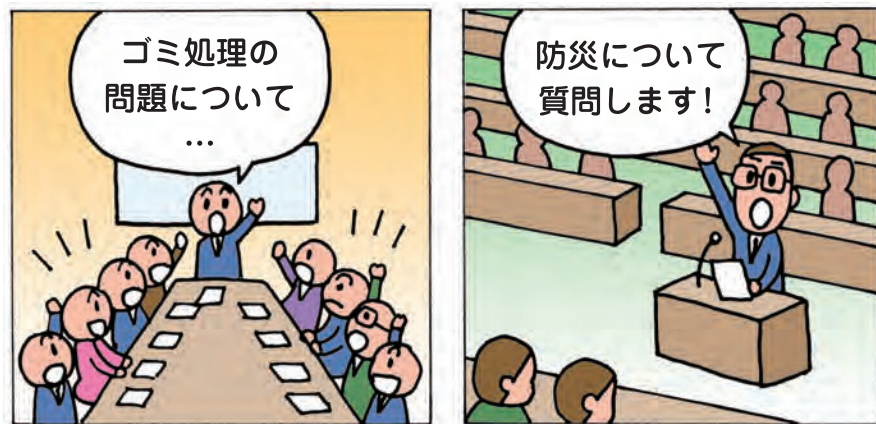
2 《集約・分類》

議会では様々なご意見を分類し、各委員会で調査します。



3 《議会での議論と行政との議論》

議会では、調査した内容を基にして、より良い地域づくりのために行政と議論します。



大勢で議論して市へ政策を提言

一般質問などで市の考えを問う

課題解決に向けて議論

各常任委員会 視察報告

市議会では、常任委員会毎に様々なテーマを掲げ、調査活動を実施しています。昨年10月から11月にかけては、調査事項に関連する先進地を視察して来ました。先進地の実践例に直に触れることができ、大変意義のある視察となりましたので、その内容の一部をご紹介します。

総務教育常任委員会

委員会では現在、次の調査を行っております。

- (1) 男女共同参画について
- (2) まちづくり推進委員会について
- (3) 予算編成のあり方について

●期日 11月5日(水)

●場所 秋田県 湯沢市

●内容 参加・協働のまちづくりに関する取組みについて

湯沢市では、地域自治組織連絡協議会を母体とした地区組織があり、職員が支援する制度や自治組織交付金があり、人的支援と財政支援がなされています。

●期日 11月6日(木)

●場所 山形県 山形市

●内容 男女共同参画について

男女共同参画推進協議会が母体とはなっていますが、実質、庁内に男女共同参画課があり、専門の職員がいるという組織体制でした。また、平成8年に「女性センター」が開設され、平成15年には男女共同参画センターとして「ファアラ」が開設されており、そこを拠点としてさまざまな事業が取り組まれておりました。

視察で得られたことを今後の調査活動に活かすこととし、状況をその都度機会を捉えてご報告いたします。



秋田県湯沢市にて



山形県山形市にて

環境厚生常任委員会

委員会では現在、次の調査を行っております。

- (1) 滝沢市福祉事務所の事務事業について
- (2) 第6期滝沢市高齢者保険福祉計画及び介護保険事業計画について
- (3) 滝沢相の沢温泉入浴施設「お山の湯」の管理運営について
- (4) 市内の墓地の現状について

●期日 11月19日・20日

●場所 東京都立小平霊園・群馬県渋川市・新潟県魚沼市を訪問し調査してまいりました。

去る11月19日・20日に東京都立小平霊園・群馬県渋川市・新潟県魚沼市を訪問し調査してまいりました。

小平霊園は指定管理による霊園墓地であり、一般墓地・芝生墓地、壁型墓地が設置されており、さらには合葬埋蔵墓地・樹林墓地も建設されています。墓参りだけでなく散歩も楽しめる地域に溶け込んだ霊園となっていました。

市有温泉のあり方についての調査を行った渋川市・魚沼市の両市は、合併により多くの温泉施設を抱えることとなり、あり方の検討などの取り組みを行っていた。温泉施設を観光資源の一つと考え、地域連携や産業振興と地域活性化につなげるためにいろいろ努力され、検討を進めていた。

視察で得られたことを今後の調査活動に活かすこととし、状況をその都度機会を捉えてご報告いたします。



群馬県渋川市にて



新潟県魚沼市にて

産業建設常任委員会

委員会では現在、次の調査を行っております。

- (1) 交通政策のあり方について
- 期日 10月29日(水)
- 場所 埼玉県三芳町

●内容 デマンド型乗り合いタクシーについて

「デマンド交通」「のぞみカー」の試行運転実施期間中に視察しました。試行運転を行うため、2年程前から準備を進め、先ずは、住民の移動状況等の把握を行うための全町アンケートを実施しており、利用者は電話で予約の上、共通乗降場まで移動して乗車し、目的地付近の共通乗降場まで利用するという、三芳町独自の「乗り合い方式」のタクシーでした。今後本格稼働するかの判断は、試行運転での利用状況を踏まえて行うとのことでした。

●期日 10月30日(木)

●場所 千葉県袖ヶ浦市

●内容 デマンド型乗合タクシーの運行実施について

22年から「デマンド型乗り合いタクシー」として実証運行を行っていました。実証運行の結果は、目標利用者を大幅に下回ったことから、25年10月をもって運行を終了していました。

利用者が伸びなかった原因として、①利用の予約など高齢者が面倒だった。②病院などで診察が延びた場合、予約した便に乗り換えられない。③狭い車内に他人と同乗することへの抵抗感。④路線バスや鉄道駅など基幹交通へ接続する補完的システムであるという理解が得られなかった。などが挙げられています。

視察で得られたことを今後の調査活動に活かすこととし、状況報告は、その都度機会を捉えて行きます。



埼玉県三芳町にて



千葉県袖ヶ浦市にて

総務教育常任委員会 調査活動報告

●委員長…武田猛児

●副委員長…武田哲

●委員…川原清、山谷仁、長内信平、佐藤澄子、高橋寿

予算編成のあり方について

■調査日 26年8月28日／26年10月16日

本市の当初予算(案)の審査は3月会議において行われるが、当初予算(案)が、どのような考え方やびスケジュールの中で編成されているか改めて確認し、より効率的な予算編成、予算執行のための提言をすべく調査を行った。

最初に、予算編成の現状認識について主なものを書き出す。

○政策評価書 施策評価書はHPで公開されており達成状況についてはおおむね把握できるので公正の確保と透明性の向上のための措置はとっており、評価できる。しかし、基準と指標をもつて判定できるガイドラインが策定されておらず、責務と義務を果たしたのかどうかの判定ができないのではないかと。

○次に現状に対してどのように予算編成を行うべきかについて、それぞれの委員の提案について書き出す。

○先例にとらわれることなく積極的な事業の見直しをすべく考える。事業の成果の見込みや効果は十分なのかなど住民の期待に見合う編成が大事。

○これから大規模複合施設、小学校建設、スマートインターチェンジ、岩手国体等財政が一気に悪化すると思われる事業の見直しや管理費のかさむ施設の整理等健全化に取り組む必要がある。また、下水道事業の公営企業化、市債残高の処理、一般会計からの繰り出しなどの問題があり、新たな中長期財政計画、経常的経費の見直しが必要と考える。

まちづくり推進委員会 について

■調査日 26年3月7日／26年11月5日

まちづくり推進委員会は、10の行政区をもとに10に区分して組織している。取り組みを始めてほぼ10年経過したが、面積や自治会数の違い、事業のマンネリ化等、課題がある。市では滝沢市自治基本条例第5条「めざす地域の姿」の実現に向け、(仮称)滝沢市地域コミュニティ条例の制定と、地域別計画(次期総合計画の基本計画に位置付け)の策定に向け取り組んでいる。これまでのまちづくり推進委員会の取組みの経過や新しい計画の策定に向けた計画等を確認するとともに、市民と行政が協働して地域づくりを進めている先進事例から学び、今後の協働のあり方についての提言をすべく調査を行った。

地域づくり組織の規模について

滝沢市の場合、自治会の規模等に大きなばらつきがある。小規模の地域は地域がまとまり運営しやすい環境であるが、大規模な地域は地域課題が幅広く、まとめるための労力は大変。現在、策定中の次期総合計画策定に係る地域別計画の取り組みの中でも、大規模自治会の声として少数単位の再編成を望んでいることから、地域別計画の区分を10地区ではなく自治会単位で編成することを検討していくべきである。

人的支援について

滝沢市においても住民と行政の協働を考えると支援職員の配置は重要であると考えられる。現在、各まちづくり推進委員会に2名以上(計22名)のまちづくり協働推進員(通称「推進職員」)が配置されているが、関わり方には温度差がある。今後の推進職員の役割として、後方支援のみに偏ることなく、必要に応じてアドバイザーとしての力量を発揮することを求めたい。

財政支援について

視察した湯沢市の「地域自治組織交付金」(予算額は3,030万円)は、滝沢市における「滝沢市自治会連合会交付金」(予算額3,507万円)に相当する。滝沢市自治会連合会交付金は①連合会事業費、②単位自治会の活動費助成等に区分されており、地域活動支援のあり方を改めて検討すべきと考える。

議会にズバリひと言

【意見】

自治会と協力した防災対策について。

中学校のいじめや自殺に関する問題について、今後どんなふうに行っていくのかをもっと具体的に伝えてほしいと感じた。

子どもが健やかに生き生きと過ごせる市政づくりに取り組んでもらいたいです。

水害に対する防災対策について。

災害時の要援護者に対する対応について

食育推進における保護者への取組み

市役所玄関脇が喫煙所になっているためタバコのおいが気になる。議会で議論してほしい。(同意見多数)

スマートインターは必要か?

【回答】

現在、市内の29自治会に自主防災組織が設立されています。議会としても危機管理専門委員会を設置するなど、検討を行っています。

議会では、様々な機会を通じて議論してまいりました。今後、第三者委員会の結果報告等を注視していきます。

市では、「生きる力」を育てる学習指導要領の趣旨を踏まえ、復興教育の取組などを通じて、教育目標である「明るく、かしこく、たくましい子ども」の育成に努めています。議会としても非常に重要なことと認識し、委員会で調査等を行い、教育委員会や市に対して提言していきます。

河川の氾濫に備えるため、毎年、消防団参加のもと合同水防訓練を実施しており、今後も災害時に適切に対応できるよう、技術の向上に努めています。議会としても非常に重要なことであると認識し、今後もその取組みを注視していきます。

市では、要援護者台帳登録制度を実施しており、引き続き周知を図ります。議会としても非常に重要なことと認識し、今後も市の取組みを注視していきます。

市も重点政策として位置付けて取り組んでいますので、議会としても今後取り組んでいきます。

議会としても取り組んでおり、市制移行による庁内各課の移動に合わせて、庁舎1階の喫煙スペースは撤去されました。

(仮称)滝沢南スマートインターチェンジは、今後の市の発展に必要なものであると考えています。

議会改革推進会議

議会改革推進会議は、変化する社会情勢に適応するため、常に議会のあり方を検証し議会の改革を行うことを目的に、滝沢市議会基本条例の規定により昨年2月10日に設置されました。この会議は議長を含む20名すべての議員で組織しています。現在、3つの専門的な事項を協議するため、専門委員会を置き検討しています。

定数・報酬専門委員会

通年議会にふさわしい定数および報酬に関するものを検討しています。

危機管理専門委員会

災害時等の議会の対応に関するものを検討しています。

議会評価専門委員会

議会の評価に関するものを検討しています。



各専門委員会は、全20名の議員で構成する「議会改革推進会議」の中に設置されています。議長と議会改革推進会議委員長を除く18名の議員で、それぞれ6名ずつで構成されています。

議案の審査結果

全員賛成で議決した議案

◎10月会議 ※川原議員は欠席

議案第 1 号	平成26年度滝沢市一般会計補正予算(第5号)
議案第 2号	財産の取得に関し議決を求めることについて

◎11月会議

議案第 1 号	平成26年度滝沢市一般会計補正予算(第7号)
議案第 2号	平成26年度滝沢市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
議案第 3号	平成26年度滝沢市介護保険特別会計補正予算(第3号)
議案第 4号	平成26年度滝沢市介護保険介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)
議案第 5号	平成26年度滝沢市下水道事業特別会計補正予算(第3号)
議案第 6号	平成26年度滝沢市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
議案第 7号	平成26年度滝沢市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
議案第 8号	平成26年度滝沢市水道事業会計補正予算(第2号)
議案第 9号	滝沢市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正することについて

◎12月会議

議案第 1 号	平成26年度滝沢市一般会計補正予算(第8号)
議案第 2 号	平成26年度滝沢市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
議案第 3 号	平成26年度滝沢市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
議案第 4号	平成26年度滝沢市介護保険特別会計補正予算(第4号)
議案第 5号	平成26年度滝沢市介護保険介護サービス事業特別会計補正予算(第3号)
議案第 6号	平成26年度滝沢市下水道事業特別会計補正予算(第4号)
議案第 7号	平成26年度滝沢市水道事業会計補正予算(第3号)
議案第 9号	滝沢市下水道条例の一部を改正することについて
議案第10号	滝沢市公共下水道事業分担金条例の一部を改正することについて
議案第11号	滝沢市国民健康保険条例の一部を改正することについて
議案第12号	滝沢相の沢温泉入浴施設に関する指定管理者の指定について
議案第13号	滝沢市立姥屋敷保育所に関する指定管理者の指定について
議案第14号	滝沢市保育所に関する指定管理者の指定について
議案第15号	市道路線の認定及び変更に関し議決を求めることについて
議案第16号	滝沢市簡易水道事業導配水管布設工事請負契約の締結について

◎12月第 2 回会議

議案第 1 号	議決事項の一部を訂正することについて
発議第 1 号	米価安定対策等に関する意見書
請願第 2 号	米価安定対策等に関する請願

賛否が分かれた議案 (12 月会議)

投票結果 ○賛成 × 反対 △棄権 ※1 黒沢明夫議員は議長であるため採決には加わりません。		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20			
		柳村 一	相原 孝彦	桜井 博義	武田 猛見	斉藤 健二	川原 清	佐藤美喜子	高橋 盛佳	山谷 仁	工藤 勝則	遠藤 秀鬼	長内 信平	武田 哲	熊谷 初男	西村 繁	佐藤 澄子	日向 清一	角掛 邦彦	高橋 寿	黒沢 明夫	表決議員数	賛成票数	反対票数
議案第 8号	下水道事業に地方公営企業法を適用することに伴う関係条例の整理に関する 条例を制定することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	※ ₁	19	18	1
請願第 1 号	(仮称)東部コミュニティセンター建設に関する請願	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※ ₁	18	18	0

◎人事(12月会議)

人権擁護委員候補者 諮問第1号 太野 玲子 氏(61歳) 新任	滝沢市教育委員会委員 同意第1号 佐藤 恭孝 氏(66歳) 再任	滝沢市教育委員会委員 同意第2号 菊池 直子 氏(59歳) 再任	滝沢市固定資産評価審査委員会委員 同意第3号 大谷地政光 氏 (65歳) 再任	滝沢市監査委員 同意第4号 佐藤 博己 氏(65歳) 新任
---------------------------------------	--	--	---	-------------------------------------

◎請願

	請願の件名	請願の趣旨	請願者氏名	結果
12月会議	(仮称) 東部コミュニティセンター建設に関する請願	滝沢市の人口の約1/3をかかえる東部地域（川前・長根・巣子・南巣子の4自治会の地域）にふさわしい規模のコミュニティセンターを建設すること。	長根自治会会長 高橋辰雄 巣子自治会会長 関 勝三 南巣子自治会会長 山下金吾 川前自治会会長 川村尚雄	採択

	請願の件名	請願の趣旨	請願者氏名	結果
12月 第 2 回会議	米価安定対策等に関する請願	将来にわたって安定的な稲作経営を展望できるよう、国に意見書を提出すること。	新岩手農業協同組合代表理事組合長 久保 憲雄	採択

1～3月
議会の
予定

1月9日(金)	1月会議
1月22日(木)	議会運営委員会
1月22日(木)	全員協議会
1月29日(木)	各常任委員会
2月9日(月)	議会運営委員会
2月9日(月)	全員協議会
2月16日(月)～18日(水)	2月会議・一般質問
2月25日(水)	議会運営委員会

2月25日(水)	全員協議会
3月4日(水)	3月会議
3月5日(木)～6日(金)	予算決算常任委員会
3月9日(月)	各常任委員会
3月10日(火)	3月会議・代表質問
3月12日(木)～18日(水)	予算決算常任委員会
3月20日(金)	3月会議・議案審議
3月26日(木)	各常任委員会

10～12月議会の傍聴者39名

～お知らせ～
ホームページで「滝沢市議会だより」や「議会会議録」をご覧ください。
◎議場は市役所4階です。
◎日程、内容は予定であり、変更する場合があります。
■問い合わせ：滝沢市議会事務局 /019-684-2111(内線 412.413)

傍聴に
おでんせ!

お詫びと訂正

前号(第3号:平成26年10月15日発行)でお知らせした記事に誤りがありました。正しくは次のとおりです。関係者の皆様を始め、多大なるご迷惑をおかけいたしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

賛否が分かれた議案		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20				
投票結果 ○賛成 × 反対		柳村 一	相原 孝彦	桜井 博義	武田 猛見	斉藤 健二	川原 清	佐藤美喜子	高橋 盛佳	山谷 仁	工藤 勝則	遠藤 秀鬼	長内 信平	武田 哲	熊谷 初男	西村 繁	佐藤 澄子	日向 清一	角掛 邦彦	高橋 寿	黒沢 明夫	表決議員数	賛成票数	反対票数	
請願第 1 号	国会に特定秘密保護法の改廃を求める意見書の提出を求める請願	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	※ ₂	×	×	×	×	×	×	×	×	×	※ ₁	18	8	10
請願第 2 号	集团的自衛権の行使を容認する閣議決定を撤回し行使を可能とする立法や政策を行わないようにする請願	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	※ ₂	×	×	×	×	×	×	×	×	×	※ ₁	18	8	10

「たきざわ市議会だより」は古紙配合率70%の再生紙に環境にやさしい環境調和型インキで印刷しています。